

礼 拜 順 序

		司 会
		奏 楽
前 奏		
招 詞	ヨハネ4:23-24	
讃 美 歌	こどもさんびか 141	
読 詩 編	こどもこうどくぶん 4	
聖 書	マルコ 4:1-9 (p.66 or 77)	
祈 禱		
説 教	実を結ぶ	秋吉隆雄牧師
祈 禱		
讃 美 歌	こどもさんびか 71	
献 金	こどもさんびか 17	
主の祈り	564	
頌 栄	こどもさんびか 15	
祝 禱		
後 奏		
祝福祈禱	こどもさんびか 35	
告		

月 日	司会	奏楽	礼拝	受 付	献 金	配餐当番
11/ 9						
11/16						
11/15(土)						
11/21(金)						

◇次 週 礼 拜◇

説 教 愛と裏切り
 聖 書 出エジ21:28-32
 マタイ26:1-15
 讃美歌 讃美歌21-7 329
 391
 交読詩編 21:1-14

◇本 日 の 集 会◇

求道者会 礼拝後 於 談話室
 初めて教会に見えた方、求道者
 (洗礼を受けておられない方)は
 お集まりください。

お好み焼きパーティー 礼拝後
 皆さん、ご参加ください。
 定例役員会 パーティー後

◇今 週 の 集 会◇

港南台集会
 12日(水) 午後1時半
 入門講座
 13日(木) 午前10時
 牧師面会日
 13日(木) 午後

◇報 告 と お 願 い◇

次主日礼拝後、教会学校教師会
 をいたします。
 クリスマスに受洗、転入をご希
 望の方は早めに牧師、又は伝道委
 員までお申してください。

◇今週の誕生者◇

		男	女	計
祈 禱 会	11/ 1	2	5	7
教会学校 子供	11/ 2	4	14	18
	大人	11/ 2	8	11
	成人科	11/ 2	1	4
主 日 礼 拜	11/ 2	36	74	110
旧約を読む会	11/ 4	1	9	10
上 郷 集 会	11/ 5	1	8	9
入 門 講 座	11/ 6	5	5	10

◇牧 師 室 か ら◇

11月第1主日の「聖徒の日」
 例年のように天に召された方々の
 遺影を並べ「永眠者記念」礼拝を
 守った。故人の「記念会」は遺族
 からの要望があった時、行なっ
 ている。永眠者記念礼拝は、教会で
 葬式をした遺族と教会墓地に納骨
 している遺族には、遺影を持って
 礼拝に見えるように案内状を出し

ている。もちろん、他の教会で葬式をした方の遺影も届けられている。用意している二つのテーブルに、遺影は乗せきれないほど並ぶようになった。

教会は目に見えるところで何をしているかだけで教会になるわけではない。イエス・キリストは「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」と語られた。これは、イエス・キリストの十字架の死による人間の救いを語った言葉であるが、先に召された方々によって、教会は支えられ強められ、成長している。信仰の先達の生と死を継承し、これを宝とする時、教会になっていく。私はそう信じ、永眠者記念礼拝を大切な礼拝として守っている。

牧師になって、死に逝く人と出会い、そして送った人は数十人を数えるだろう。その出会いと別れから多くのものを教えられ、牧師にさせられてきたと言っても過言ではない。死の床に立ち会う時、有限な命を越えた「永遠」を強く望み、深くあこがれる。聖書は、

その「永遠」はイエス・キリストの十字架の死からの復活にある。死を空しくした甦りにあると証言している。キリスト教信仰は、このイエス・キリストの十字架と復活に結びつくことである。パウロは、洗礼を受けたあなたがたはイエス・キリストの十字架の死と共に古い自分、罪に死んだ。それはイエス・キリストの復活に与かって新しい神の命に生きていることであると語っている。

死の実態は誰も体験していないので分からない。死に至るまでは人それぞれ多様である。天を望み大きな安らぎの中で見事に召される人もある。又、死に怯え病に苦しみながら召される人もいる。信仰を与えられている私たちは平安でありたいと願う。しかし、恐怖と苦悩の中で召されても一向に構わない。どんな死の対応であったとしても、イエス・キリストの十字架と復活の事実が「永遠」を約束している。この約束があるから、私たちの死は神に保証されたこととして「厳粛」に、そして「是」と受け止めることができる。

週 報

1997年11月9日 降誕前第7主日

児童祝福合同礼拝

巻18

32号

1997年度 教会主題

「復活のキリストに会う」

聖句 すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。

マタイによる福音書 28章9節～10節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一つの奉仕を持って、教会の働きを分かち合う。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒234 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323

FAX 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋吉 隆雄